

第4章 川崎遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500 m、台地の基部から先端へ1 km にわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18 m、最北部では8 mを測る。遺跡の範囲は南北600 m、東西500 m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、1980年以来2014年12月末現在41ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の炉穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。



第7図 川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第7表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
予備発掘調査	川崎160	(1974.3.25～4.4)	84	事前調査	炬穴3、土坑2、ピット群、縄文土器、石器	上遺調
1次	川崎162～176	1974.7.20～9.19	1,800	事前調査	住居跡11軒(縄文前期3、古墳前期1、国分7)、溝3、堀2、土坑5、地下式坑6、集石1	川崎遺跡 第1次調査概報
緊急発掘調査	大字川崎字宮後168-3	1975.3.30～5.10	198	個人住宅	溝3、縄文土器、石器、平安土師器・須恵器・灰釉陶器・布目瓦・瓦塔	上遺調
宅地添1次(A地区)	大字川崎字宅地添122	1975.6.8～29	50	個人住宅	縄文早期住居跡1軒、縄文土器、石器、礫	上遺調
2次	川崎137～174	1975.9.4～12.5	3,055	事前調査	縄文住居跡9軒、古墳住居跡6軒、奈良平安住居跡10軒、中世遺構他	川崎遺跡 第2次調査概報
3次	川崎149-6	1977.11.1～12.3	300	住宅建設	縄文住居跡2軒(7.8)、奈良平安住居跡6軒(1.2.4～6.9)、焼土散布、柱穴、溝	川崎遺跡 (第3次)・長宮遺跡
宅地添2次(B地区)	川崎198	1978.5.15～25	170	宅地造成	土坑3、ピット	埋(Ⅰ)
宅地添3次(c地区)	川崎230	1978.5.23～31	130	宅地造成	井戸跡2、地下坑1、溝1	埋(Ⅰ)
4次	川崎2-5-2	1979.4.19～5.11	304	宅地造成	縄文前期住居跡1軒、溝1、黒浜式土器、貝類	埋(Ⅱ)(Ⅳ)
5次	川崎1-1-4	1979.9.26～10.10	152	宅地造成	溝状遺構	埋(Ⅱ)
79年度試掘(清見)	清見4-3-11	(1979.11.12～19)	260	宅地造成	溝1	埋(Ⅱ)
6次	川崎102-5	1979.12.3～8	30	ﾌｪﾐﾅ 家屋	縄文前期住居跡2軒、縄文土器片、平安住居跡2軒	埋(Ⅱ)
7次	川崎124-3	1981.11.27～30	316	個人住宅	遺構なし、平安土器片	埋(Ⅳ)
8次	大字川崎字宮脇148-1	1984.1.17～26	400	住宅建設	溝1	埋(Ⅵ)
宅地添4次	川崎宅地添219	1984.9.25～10.9	301	住宅建設	縄文住居跡1軒、平安住居跡1軒	埋(Ⅶ)
9次	川崎字宮後1172-1、2	1986.9.11～20	495	個人住宅	溝2、縄文後・晩期、平安土器散布	埋(Ⅹ)
10次	川崎224-1	1987.11.24～30	603	個人住宅	溝1	埋(Ⅹ)
11次	川崎2-6-2	1988.5.10～17	289	住宅建設	なし	埋(Ⅺ)
88試	市道402号線	(1988.9.19～21)	60	下水道設置	住居跡1軒	埋(Ⅺ)
89試(1)	川崎字宅地添196-1	(1989.4.10～18)	1,045	住宅建設	なし	埋(Ⅻ)
89試(2)	川崎字宮前98-2	(1989.10.3～6)	264	住宅建設	なし	埋(Ⅻ)
12次	川崎字宮前149-4、5	1990.4.20～27	311	住宅建設	溝2	埋(Ⅼ)
13次	大字川崎字宮前122	1990.5.1～17	480	住宅建設	奈良住居跡1軒	埋(Ⅼ)
90試(1)	大字川崎字宮前122	(1990.5.18～23)	530	範囲確認	なし	埋(Ⅼ)
14次	大字川崎字宮前145	1990.10.1～31	499	住宅建設	縄文前期住居跡1軒、貝塚、平安住居跡1軒	埋(Ⅼ)
15次	川崎字宮後1160-1	1991.10.23～11.20	499	個人住宅	平安住居跡7軒、土坑1	埋(Ⅽ)
92試(1)	大字川崎字山向9-5	(1993.2.18～19)	168	店舗併用住宅	なし	埋(Ⅾ)
93試(1)	川崎2-2-10、11	(1993.8.24)	131	個人住宅	なし	埋(Ⅾ)
93試(2)	川崎1-1-1の一部	(1993.9.10～13)	422	個人住宅	なし	埋(Ⅾ)
94試(1)	川崎字台258他1筆	(1994.11.17～24)	230	機材置場敷設	なし	埋(ⅰ)
95試(1)	川崎2-7-2、3	(1995.10.13～16)	1,126	消防署	なし	埋(ⅱ)
16次	川崎字宮脇150-2、3	1995.12.11～1996.3.8	828	駐車場及び資材置場敷設	縄文前期(黒浜期)大形住居跡1、同期住居跡2・土坑2、平安住居跡4軒・掘立柱建物跡6棟、中世竈穴状遺構2	7年教要
17次	川崎字宅地添204の一部	1996.7.15～23	779	個人住宅	平安住居跡1	埋(ⅲ)
18次	川崎字宮脇148-3	1996.11.18～25	198	個人住宅	平安住居跡1	埋(ⅲ)
97試(1)	川崎字山向21	(1997.4.14)	367	宅地造成	溝1(時期不明)	埋(ⅲ)
97試(2)	川崎字宮後1165-6	(1997.10.20)	204	個人住宅	なし	埋(ⅲ)
97試(3)	川崎字宅地添199-1、2、5	(1998.2.12～16)	780	個人住宅	なし	9年教要
98試(1)	川崎字宅地添197-1	(1998.10.27～11.6)	996	宅地造成	縄文前期土坑1他	埋(ⅲ)
市道402号線2次	川崎字宮前、宮脇地内	2000.2.21～25	496	道路築造	縄文前期住居跡1	11年教要
00試(1)	川崎大字宅地添209の一部	(2000.6.19～22)	123.3	個人住宅	貝塚の一部	埋(ⅲ)
範囲確認調査	川崎字宅地添209	(2001.6.12～25)	100	車庫	溝1	埋(ⅲ)
19次	川崎字宮脇157の一部	2001.9.18～10.4	289	個人住宅	平安初頭住居跡1	埋(ⅲ)
01試(1)	川崎字宅地添204-1	(2001.10.29.30)	825	宅地造成	なし	埋(ⅲ)
02試(1)	川崎249-1の一部	(2002.5.13)	341	倉庫	なし	埋(ⅲ)
02試(2)	川崎210-1、2の一部	(2002.10.28.29)	551	共同住宅	溝1【盛土保存】	埋(ⅲ)
02試(3)	川崎2-4-16	(2002.12.24)	228	個人住宅	なし	14年教要
02試(4)	川崎2-2-12	(2003.3.13)	165	個人住宅	なし	14年教要
02試(5)	川崎字宮脇155先	(2003.3.26)	164	市道401号線舗装工事	なし	14年教要
03試(1)	川崎137-1の一部	(2003.8.6.7)	257	個人住宅	なし	埋(ⅲ)
03試(2)	川崎字宅地添226-14	(2003.12.8.19)	381	個人住宅	なし	埋(ⅲ)
宅地添地区5次	川崎字宅地添222-3先	2004.2.16～18	88		古墳初頭竈穴住居跡1軒【調査実施】	15年教要
04試(1)	川崎字宮脇157-1の一部	(2004.6.14.15)	421	個人住宅	平安時代竈穴住居のカマドの一部	埋(ⅲ)
04試(2)	川崎2-5-1	(2004.11.1～4)	881	宅地造成	なし	埋(ⅲ)
20次	川崎字宮脇153-5	2005.11.28～12.2 (11.22～27)	257	個人住宅	古墳住居跡1	市内1
21	川崎1-6-10	(2006.4.11) 2006.4.14～20	298	個人住宅	奈良住居跡1、溝	市内3
22	川崎171-1、174-10	(2007.4.16～23)	104	消防分団倉庫	炬穴4、地下式坑2、穴蔵1、土坑2	市内4
24	川崎字宅地添225-3	(2007.10.4)	319	共同住宅	なし	市内4
25	川崎字宅地添203-1の一部、203-3の一部	(2008.4.14) 2008.4.15～17	1,033	個人住宅	奈良時代掘立柱建物跡1棟、溝、近代以降の地下室1基	市内6
26	川崎字宅地添230-5	(2008.4.21) 2008.4.22～5.17	228	個人住宅	奈良・平安時代竈穴住居跡4軒、土坑、ピット、近代以降の井戸1	市内6
27	川崎1-7-1	(2008.5.15～5.21)	350	分譲住宅	時期不明の溝1、土坑1	市内6
28	川崎字宅地添230-7	(2008.7.4～7.9) 2008.7.10～8.8	434	個人住宅	奈良・平安時代竈穴住居跡2軒、土坑、ピット	市内6
29	川崎字宅地添230-1	(2008.7.9～7.11) 2008.7.14～8.22	203	個人住宅	奈良・平安時代竈穴住居跡2軒、溝3	市内6
30	川崎字宅地添230-6	(2008.7.17) 2008.7.18～9.5	200	個人住宅	奈良・平安時代竈穴住居跡4軒、井戸3、土坑、溝5	市内6
31	川崎字宮後161-5の一部、161番地6	(2009.10.28) 2009.10.28～11.27	304	個人住宅	縄文時代中期～後期住居跡2軒、奈良・平安時代竈穴住居跡2軒、ピット12	市内8
32	川崎字宮脇140の一部	(2011.2.24～25) 2011.3.2～25	396	個人住宅	奈良・平安時代竈穴住居跡3軒、土坑2、建物部分本調査	市内10
33	川崎字宅地添226-5	(2011.4.14～21)	438	共同住宅	なし	市内14
34	川崎2丁目5-4	(2011.7.25～26)	117.8	分譲住宅	なし	市内14
35	川崎2丁目6-4～7、9	(2011.9.27～11.24)	1,924	分譲住宅	縄文時代前期(黒浜期)住居跡1軒、奈良平安時代住居跡1軒他	市内14
36	川崎字宮前100-1	(2011.12.15～26)2011.12.26～2012.1.17	1,096	公園整備	奈良平安時代住居跡6軒他	市内14
37	川崎宅字地添232-1	(2012.9.3)	1,298	個人住宅	少量の須恵器片、遺構なし	未報告
38	川崎字宮後165番3	(2013.2.25) 2013.2.26・27	176	個人住宅	地表面下50cmで、縄文跡2・中世以降ピット5確認	未報告
39	川崎字宅地添227-1	2013.3.4～5	1,121	個人住宅	旧家取り壊し時の部材を燃やし、埋めた穴や、柱穴等。近代以降。	未報告
40	川崎1丁目1番7	(2013.10.11～21)	447	共同住宅	なし	未報告

※埋：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書



第8図 川崎遺跡遺構分布図 (1/2,500)

第8表 川崎遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉 カマド K	設置壁	カマド 規模 cm	周溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1974	第1次LN72	完掘	隅丸方形	760×730×40	炉	地床炉	60×50	○	N-60-E	3世紀終末	市指定文化財	川崎遺跡第1次概報
2	1974	第1次LN05	完掘	方形	390×320×	K			○	N-5-E	国分		〃
3	1974	第1次LN06	完掘	歪んだ方形	320×320×	K	東		○	N-13-W	9C 4半期		〃
4	1974	第1次LN07	完掘	方形	320×320×	K	東	80×90	○	N-83-W	9C 中葉		〃
5	1974	第1次LN24	完掘	長方形	470×340×50	K	北	120×75	○	N-5-E	10C 1半期		〃
6	1974	第1次LN25	完掘	方形	320×300×	K	北	40×40		N-42-E	9C 1半期		〃
7	1974	第1次LN28	西側未掘	(長方形)	×300	K	東	50×60	○	N-69-W	9C 3半期		〃
8	1974	第1次LN71	東側7割未掘	(方形)	×600								〃
9	1975	第2次LN75	部分	(長方形)									川崎遺跡第2次概報
10	1975	第2次LN92	部分	(長方形)							10C 1半期		〃
11	1975	第2次LN72	完掘	隅丸方形	250×250×13	K	南	50×80		N-18-E	国分		〃
12	1975	第2次LN07	完掘	方形	720×720	K	北		○	N-32-E	6C後半	ビット多数 土すい	〃
13	1975	第2次LN04	完掘	方形	390×350	K	東	60×70	○	N-64-E	6C前半	貯蔵穴有り	〃
14	1975	第2次LN05	完掘	長方形	450×370	K	北	100×80	○	N-1-E	10C 2半期		〃
15	1975	第2次LN19	14住に切られる			K	東				9C 4半期	支脚がたったまま	〃
16	1975	第2次LN14	完掘	長方形	370×260	K	北	90×80	○	N-4-E	9C 3半期		〃
17	1975	第2次LN12	南側未掘	長方形	700×						6C	紡錘車	〃
18	1975	第2次LN33	17住と大きく重複し全体不明										〃
19	1975	第2次LN06	完掘	隅丸方形	410×420	K	北東		○	N-45-E	6C後半	良好	〃
20	1975	第2次LN22	完掘	長方形	410×330	K	北	120×120	○	N-29-W			〃
21	1975	第2次LN53	完掘	長方形	350×280	K	東	70×60	○	N-87-E	10C 2半期	22住を切る	〃
22	1975	第2次LN54	部分	方形	330×320	炉	地床炉				五領		〃
23	1975	第2次LN20	3/5	(長方形)	×350	K	北		○	N-23-E	9C 2半期	鍛冶工房跡	〃
24	1975	第2次LN21	ほぼ完掘	正方形	580	K	北西	50×70	○	N-43-W	鬼高		〃
25	1977	第3次1号住居	南東隅のみ	(長方形)		K	東	途中で廃絶されたもの	○				川崎遺跡第3次
26	1977	第3次2号住居	完掘	長方形	350×330	K	北	×70	○		国分	鉄製品多い	〃
27	1977	第3次4号住居	(完掘)	長方形	350×400	K	東	170×110	○		国分		〃と埋文調査19
28	1977	第3次5号住居	(完掘)	長方形	350×320	K	東	120×90	○		国分		〃と埋文調査19
29	1977	第3次6号住居	4/5	正方形	440×	K	北	155×90	○		9C 4半期	焼失家屋	〃
30	1977	第3次9号住居	1/2	(方形)	415×				○		国分		〃
31	1979	第6次1 B 住居			340×				○		9C 2半期		埋蔵文化財の調査Ⅱ
32	1979	第6次2号住居	1/3		340×	K	北→東	140×80	○		9C 1半期	鉄製品多い	〃
33	1984	宅地跡第4次3住	完掘	正方形	340×340	K	東	120×100	○		8C 3半期		埋蔵文化財の調査Ⅶ
34	1990	第13次1号住居	1/2～1/3		390×	K			○		7C後半		埋蔵文化財の調査13
35	1990	第14次2号住居	南1/2		340×	K	東		○		9C 1半期		〃
36	1991	第15次1号住居			395×285	K	北東				9C～10C		埋蔵文化財の調査14
37	1991	第15次2号住居		正方形	380×380	K	東				9C中葉		〃
38	1991	第15次3号住居	完掘	長方形	265×430	K	南東		○		9C初頭		〃
39	1991	第15次4号住居	1/2	正方形	580×	K	東		○		8C末～9C初頭		〃
40	1991	第15次5号住居	3/4		280×	K	北		○		9C前半～中		〃
41	1991	第15次6号住居		正方形	425×270	K	北		○		8C後半	35.36住と重複	〃
42	1991	第15次7号住居	1/2	正方形	570×	K	北		○		9C前半	緑釉陶器、焼失家屋	〃
43	1994	第16次1号住居	1/2		450×				○		9C前半～後半		未報告
44	1994	第16次2号住居	北西隅のみ								9C前半～後半		〃
45	1994	第16次5号住居	2/3		440×	K	東		○		9C前半～後半		〃
46	1994	第16次6号住居	カマドのみ			K	東						〃
	1994	第16次1号掘立	2/3	長方形									〃
	1994	第16次2号掘立	西側柱のみ	長方形	南北2間						9C前半～後半	42住と隣接	〃
	1994	第16次3号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間						〃	〃	〃
	1994	第16次4号掘立	完掘	長方形	南北3間 東西2間						〃	〃	〃
	1994	第16次5号掘立	1/2	長方形	南北2間						〃	〃	〃
	1994	第16次6号掘立	完掘		南北3間 東西2間						〃	〃	〃
47	1996	第17次1号住居	完掘	長方形	400×400	K	東		○		国分	墨書土器	埋蔵文化財の調査19
48	1996	第18次2号住居	完掘	長方形	300×300	K	東		○		国分		埋蔵文化財の調査19
49	2001	第19次1号住居	1/2		360×	K					9C前半		埋蔵文化財の調査24
50	2005	第20次1号住居	完掘	長方形	320×350	K	北西		○	N-45-W	7C前半～中		市内遺跡群1
51	2006	第21次1号住居	完掘	方形	410×365×10	K	東	145×125	○	N-106-E	9C後半		市内遺跡群3
	2008	第25地点1号掘立		長方形	南北2間 東西2間								市内遺跡群6
52	2008	第26地点H28号住居	完掘	方形	349×316×33	K	北	95×83	○	N-16-E	9C後半		〃
53	2008	第26地点H29号住居	北側のみ	(方形)	431×205×24	K	北	70×	○	N-16-E	9C後半		〃
54	2008	第26地点H30号住居	完掘	長方形	424×296×20	K	北	98×71	○	N-4-E	8C後半		〃
55	2008	第28地点H31a号住居	北側のみ	(方形)	(390)×(233)×15	K	北	88×84		N-19-E	8C中～後半		〃
56	2008	第28地点H31b号住居	北側のみ	(方形)	(404)×325×2				○	N-18-E			〃
57	2008	第28地点H32号住居	完掘	長方形	357×295×24	K	東	108×80	○	N-105-E	8C中～後半		〃
58	2008	第29地点H33号住居	北東のみ	(方形)	(214)×(205)×16	K	東	(65)×(65)	○	N-98-E	8C後半～9C初頭		〃
59	2008	第29地点H34号住居	完掘	方形	(378)×372×12	K	北	71×90	○	N-16-E	9C後半	墨書土器	〃
60	2008	第30地点H35号住居	完掘	長方形	294×232×26	K	東	141×88	○	N-104-E	9C前半		〃
61	2008	第30地点H37号住居	完掘	方形	415×414×21	K	北	88×140	○	N-16-E	9C後半	灰釉陶器	〃
62	2008	第30地点H38号住居	1/2	(方形)	375×(105)×17				○	N-5-E	9C後半	墨書土器	〃
63	2009	第31地点		長方形	310×276×29	K		105×90	○	N-7-E	9C		市内遺跡群8
64	2009	第31地点		長方形	215×265×15	K		82×40	無	N-88-E	9C		〃
65	2011	第32地点H65号住居	完掘	長方形	355×460×35	K	北東	113×132	○	N-27-E	10C		市内遺跡群10
66	2011	第32地点H66号住居	ほぼ完掘	方形	420×365×50	K	東	49×105	○	N-99-E	8C後半～9C初頭		〃
67	2011	第32地点H67号住居	1/2	方形	(220)×330×30	未	未	未	○	N-0-E	10C		〃
72	2011	第35地点H72号住居	プランのみ	隅丸長方形	(370×470)×50	未		未	未	未	不明	未掘	市内遺跡群14
73	2012	第36地点H73号住居	2/3	隅丸方形	320×(177)×60	K	北	77×40	○	E-7-S	9C後半		〃
74	2012	第36地点H74号住居	プランのみ	(長方形)	(90×350)	未		未	未	未	不明	未掘	〃
75	2012	第36地点H75号住居	プランのみ	(長方形)	(440×450)	未		未	未	未	不明	未掘	〃
76	2012	第36地点H76号住居	プランのみ	(長方形)	(130×460)	未		未	未	未	不明	未掘	〃
77	2012	第36地点H77号住居	プランのみ	(長方形)	340×(260)	未		未	未	未	不明	未掘	〃
78	2012	第36地点H78号住居	プランのみ	(長方形)	(390)×420	未		未	未	未	不明	未掘	〃

IV 川崎遺跡第35地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2011年5月20日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部南端に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2011年9月27日～11月24日に、幅約1～3mのトレンチ14本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から地山ローム層までの深さは30～60cmである。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。

試掘調査の結果、縄文時代前期黒浜期の住居跡1軒、奈良平安時代の住居跡1軒、縄文時代～近世の土坑5基、溝2本、ピット7基と、縄文土器等の遺物が多数出土した。

試掘調査をもとに、申請者と協議の結果、保護層が30cm以上確保出来ることや、浸透トレンチ設置場所の変更などにより、遺跡が保存可能なため、工事立会いの措置をとった。

(2) 遺構と遺物

① J 23号住居跡

調査区北端の西端に位置し調査区外に延びる。溝1を検出ただけで、住居跡は未検出である。平面形態は台形か長方形とみられる。

確認面の規模は、上端5.2m、深さは20～24cmである。住居覆度層から、出土遺物から縄文時代前期黒浜式土器が出土している。

② H72号住居跡

調査区中央部付近に位置する。遺構プランを確認しただけで未検出である。プラン平面形態は隅丸長方形で、規模は3.7×4.7m、深さ50cmである。

③土坑

土坑1は西側の遺構上部に段状の平坦面があり、その下部の壁面に、竈状の掘り込みがあるが、焼土や、竈構築材粘土などはみられない。遺構底部の北東隅に、隅丸方形に近い上面径27×29cm、深さ16.3cmの掘り込みがある。覆土層から奈良平安時代以降の時期とみられる。

土坑2は隅丸長方形とみられ、覆土層は土坑1に類似する。底部にローム土を主体とする貼床があり、覆土層と貼床の間に炭化物の堆積がみられる。覆土層

から土坑1と同時期とみられる。

土坑3は土層図(第11図)では地山ローム層の斜線トーンで表しているが、プランのみで未検出である。

土坑4も土坑3と同様である。

土坑5は一部検出したが、覆土層の観察から奈良平安時代以降とみられる。

④溝

各トレンチで確認、検出した。明らかに溝と判別できるものは、溝1と溝2である。

溝1は調査区中央を東西方向に延びる。断面は逆台形である。上幅65～107cm、下幅25～44cm、深さ37.3cmである。

溝2は調査区北側で「く」の字状に屈曲し、断面は薬研状を呈する。上幅36～146cm、下幅17～42cm、深さ77.8cmである。

覆土層の観察から溝2が奈良平安時代以降、溝1はそれより新しいとみられる。

⑤ピット

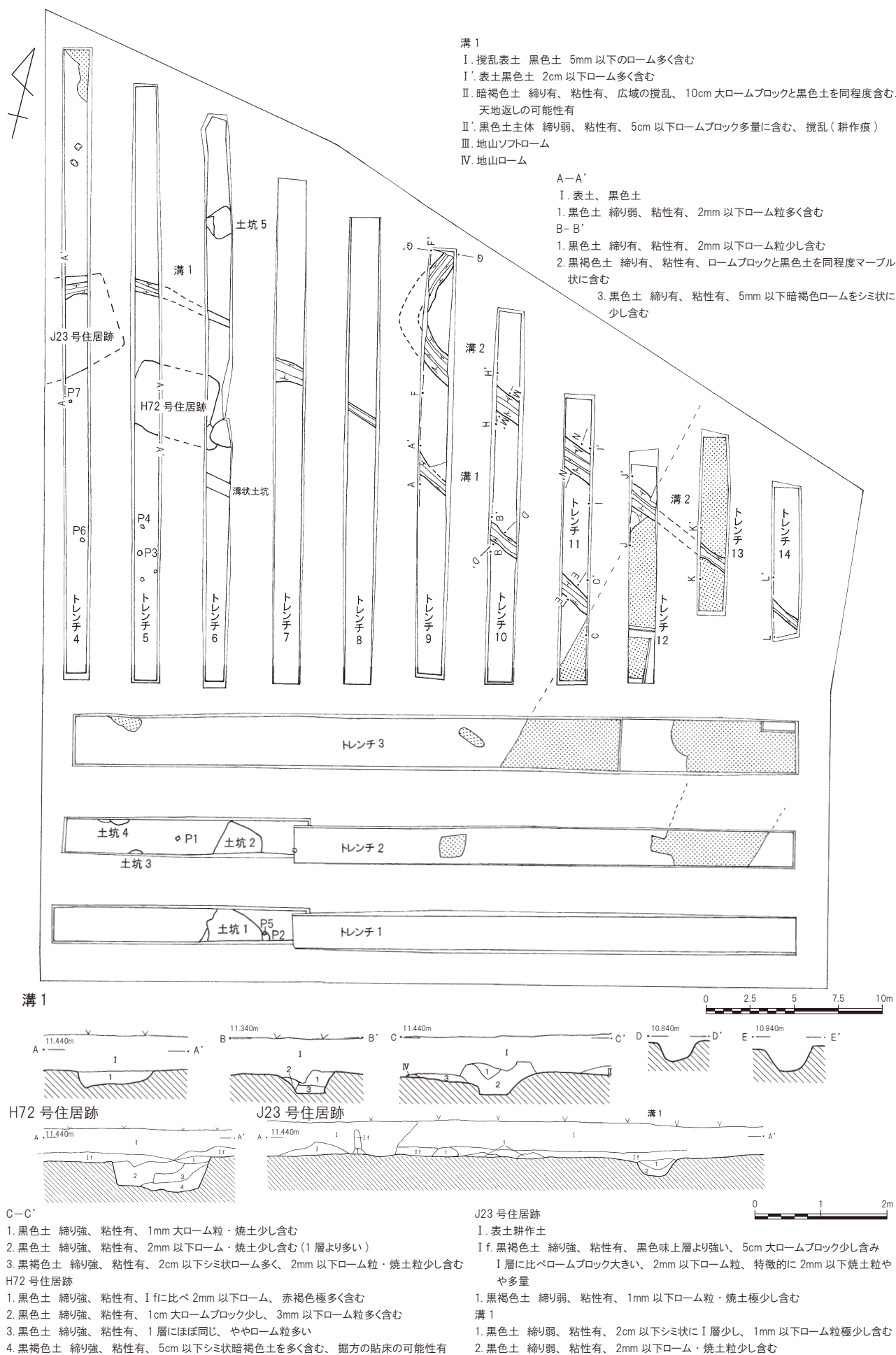
ピットは7基検出した。詳細は第9表のとおりである。

⑥出土遺物(第13図1～11)

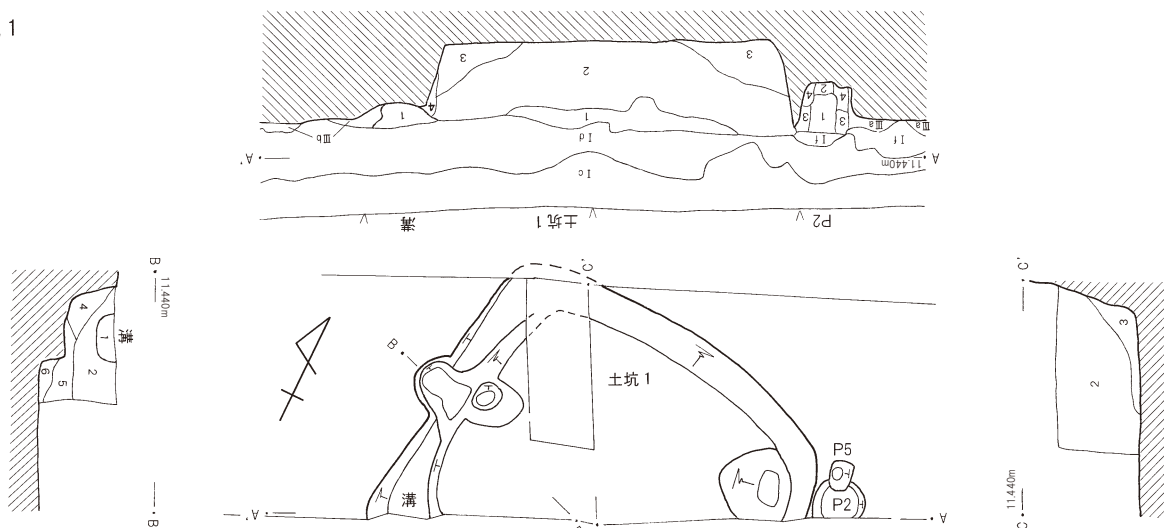
1・2は地文LrとRL縄文。3・4は須恵器杯の口縁部、5は須恵器蓋の口縁部である。胎土に海綿状骨針はみられない。6は須恵器甕で外面平行叩き。7～10はトレンチと溝1出土であるが、J23号住居跡に伴うものである。7～9は同一個体とみられる。半截竹管状工具で爪形文を施す。10は地文Lr縄文。11は須恵器甕で櫛描波状文。

第9表 川崎遺跡第35地点土坑・ピット一覧表 (単位cm)

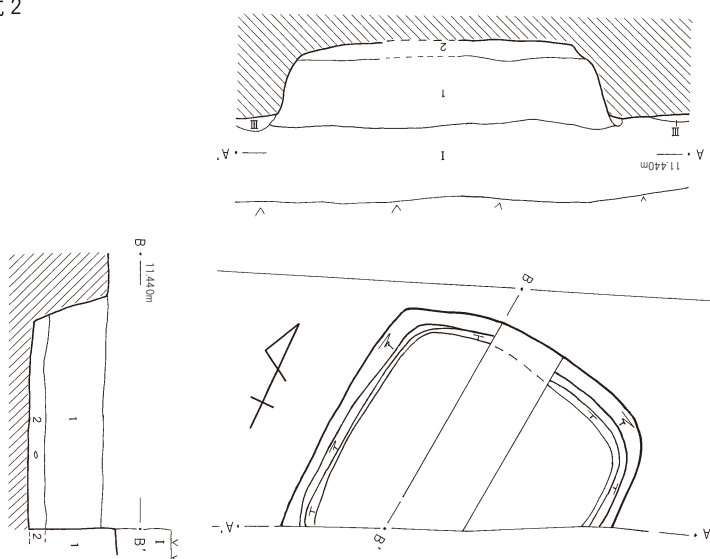
No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
土坑1	(隅丸長方形)	306×212	253×164	67.4	
土坑2	(隅丸長方形)	236×(195)	195×(180)	64.0	
土坑3	(円形)	90×(20)	-	11.0	
土坑4	(円形)	180×30	-	-	
土坑5	(方形)	145×115	-	38.0	
P1	方形	23×15	14×10	16.0	
P2	円形	41×(31)	29×(25)	32.8	
P3	方形	30×27	9×7	39.2	
P4	方形	27×23	8×6	23.0	
P5	方形	25×17	8×8	57.9	
P6	円形	32×26	12×12	15.4	
P7	方形	24×20	8×8	25.8	



土坑 1



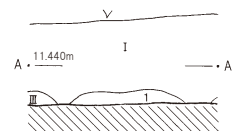
土坑 2



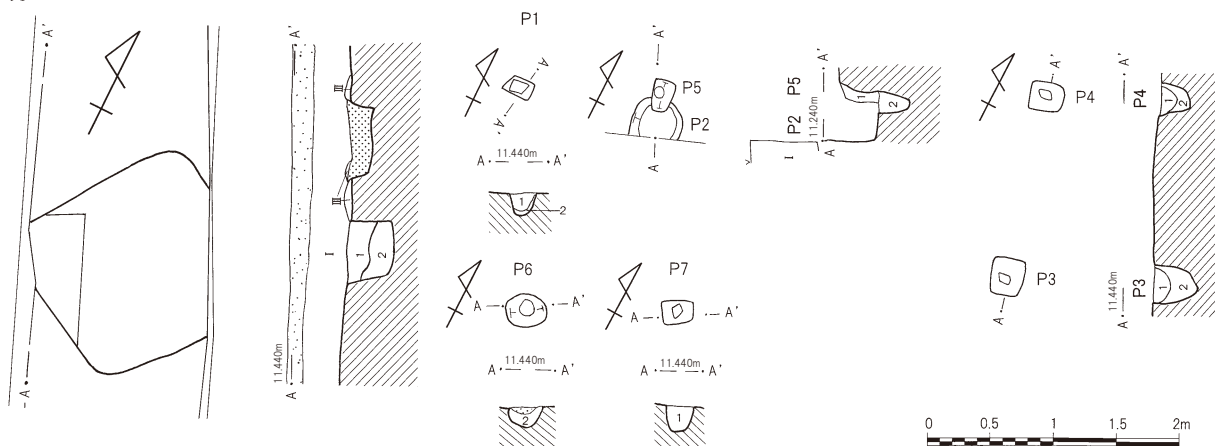
土坑 4



土坑 3



土坑 5



ピット 1 (中～近世のピット)

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、シミ状黒褐色土少し含む

ピット 2・5 (P5は縄文とみられる)

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、シミ状に黒褐色土少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く含む

ピット 3・4・6・7

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 層より黒色味強い、2cm 以下ロームブロックやや多く含む

ピット 2

1. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、3cm 大ロームブロック・3mm 以下ローム粒少し含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、色調、上層より黒色味強い、5mm 以下ローム粒やや多く含む

第 11 図 川崎遺跡第 35 地点土坑 1～5・ピット (1/60)

V 川崎遺跡第36地点

(1) 調査の概要

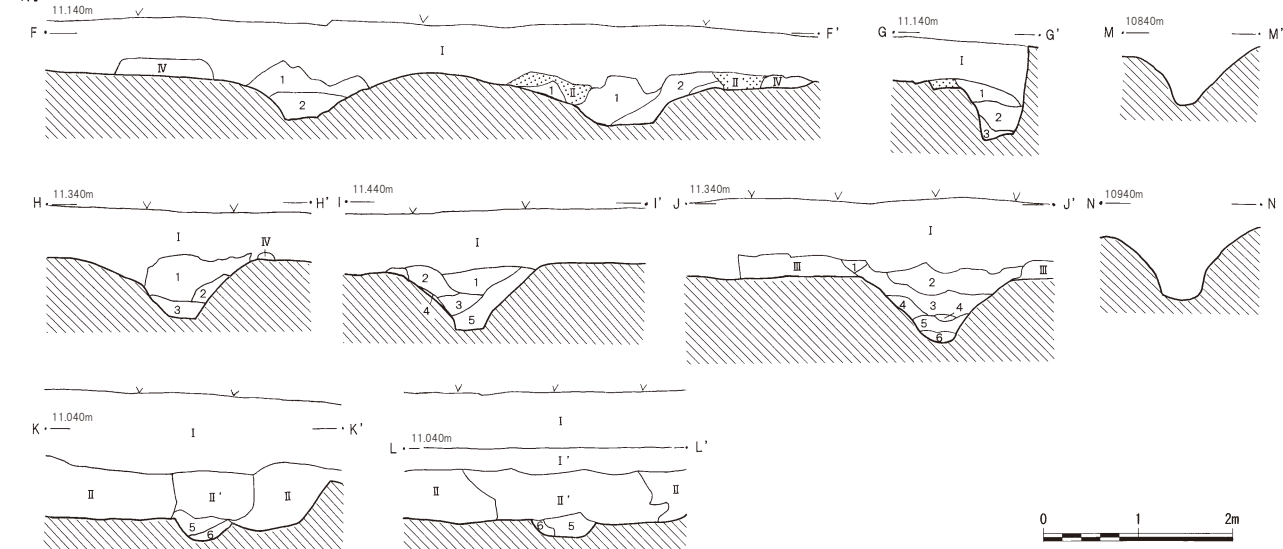
調査は公園整備に伴うもので、原因者より2011年8月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部南端に位置するため、都市計画課と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2011年12月15日～26日に、幅約1.5mのトレンチ7本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。地表面から以降確認面までの深さは30～70cmである。旧石器時代の確認調査は行っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。

試掘調査の結果、奈良平安時代の住居跡6軒、奈良平安時代の掘立柱建物跡とみられるピット4基などを確認した。

試掘調査をもとに、都市計画課と再協議の結果、公園の大部分で遺跡の保護層を確保出来ることが判明した。しかし、公園出入口付近では車止めなどの設置で、遺跡保存が不可能なため、本調査を行った。本調査は2012年1月10日～17日まで行った結果、平安時代の住居跡1軒、土坑1基、掘立柱建物跡1を検出し、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、本調査を終了した。

溝2



F-F'・G-G'

1. 黒色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む
2. 黒色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多く、5mm大ローム少し含む、北側の溝では5～10mm大ロームブロックにやや大きくなる
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2層よりややローム質で褐色になる、ローム粒は2層にほぼ同じ

H-H'

1. 黒色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒・1cm大ロームブロック少し含む
2. 黒色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒多く含む
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む(2層より多く)1cm大ロームブロック少し含む

I-I'

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1cm大ロームブロック少し、2mm以下ローム粒多量に含む
2. 黒色土 締り強、粘性有、1層より黒く、ロームブロック・粒をやや多く含む(1層より少ない)
3. 黒色土 締り強、粘性有、2層に類するが1cmロームは含まず2mm以下ローム粒も少ししか含まない

J-J'・K-K'・L-L'

1. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、Ⅲ層ソフトロームブロック
2. 黒色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒多量に含む
3. 黒色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒多く(2層より少ない)
4. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、黒色土主体にⅢ層ソフトロームをシミ状に多く含む、2mm以下ローム粒を3層より少なく含む
5. 黒褐色土+暗褐色土 締り強、粘性有、黒色土主体に5mm以下ロームを多量に含む(2～4層より多く)
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色土主体にⅢ層ソフトロームをシミ状に多く含む、2mm以下ローム粒を3層より少し含む、4層に類似する

土坑1

1. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、植物による根攪乱が著しい、シミ状に5cm以下ロームブロック少し含む
2. 灰黒色土 締り強、粘性有、旧耕作土
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、黒色味上層より強い、2mm以下ローム粒、特徴的に2mm以下焼土粒やや多く含む
- Ⅲa. 暗褐色土層(漸移層)
- Ⅲb. 暗黄褐色ソフトローム
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少し含む、色調下層より灰色味がある
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～30mmロームブロック・3mm以下ローム粒やや多く含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～20mmロームブロック少し含む、上層より黒色味強い
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、5～50mmロームブロック少し含む
5. 明黄褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土をベースに大型のソフトロームブロック、10cm暗褐色土ブロック多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック・粒少し含む

土坑2

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、上層に1cm以下ロームブロック多く、下層には更に2～5cm大ロームブロック多量に含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム主体に2cm以下シミが黒褐色土を斑状に多く含む、1層と2層の境に炭化物層が見られる、壁の下段に5cm程の段があり、この段の高さと2層が同じであることから貼床と考えられる

土坑3

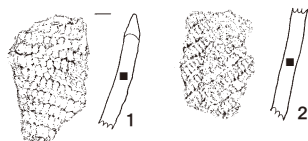
1. 黒褐色土 締り弱、粘性有、1cm以下ロームブロック多く含む、I層の灰黒褐色土をシミ状に少し含む

土坑5

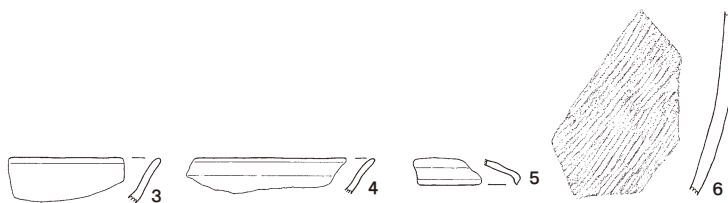
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多量に含む、焼土含まない
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多く含む(1層より少ない)、焼土含まない

第12図 川崎遺跡第35地点溝2土層(1/80)

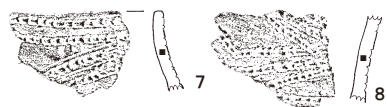
J23 号住居跡



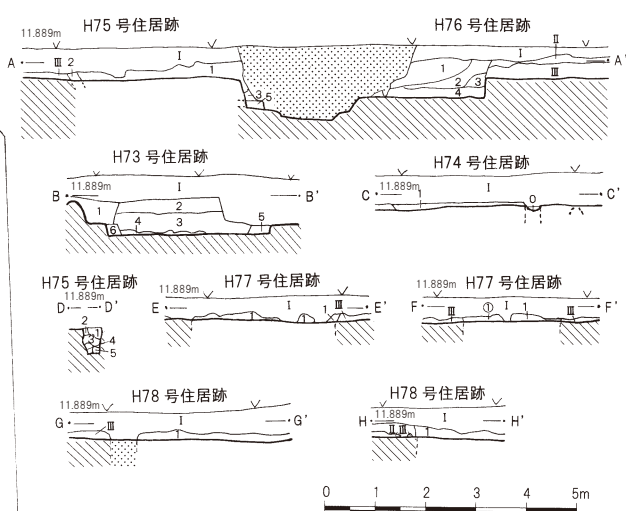
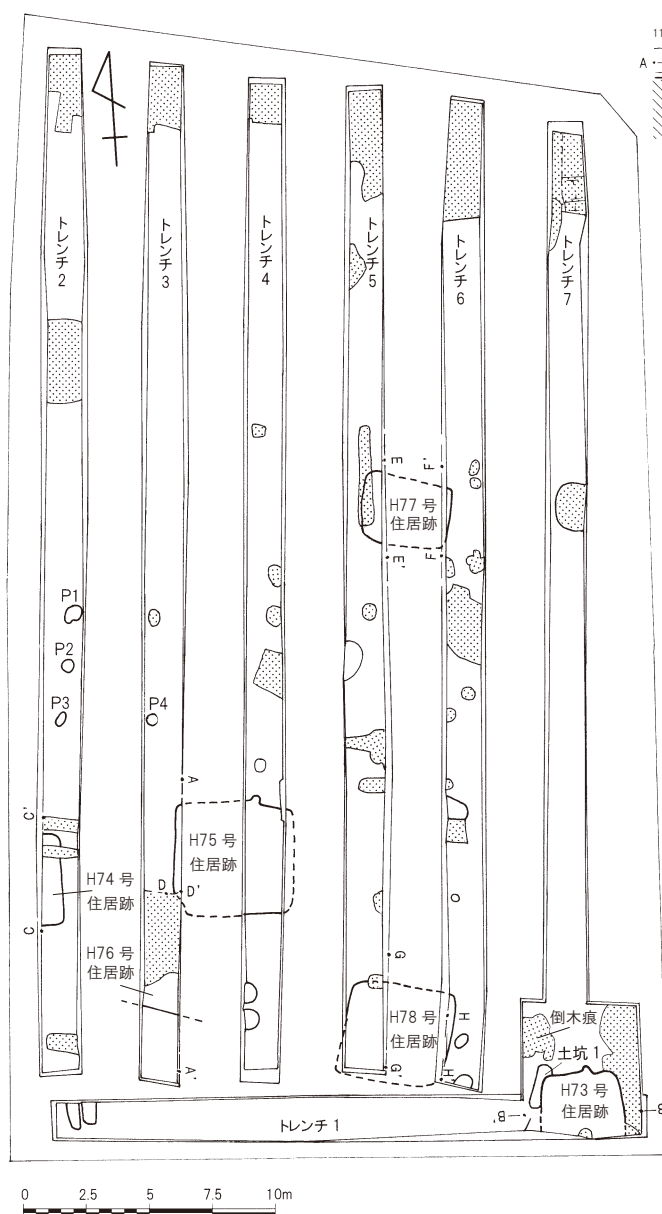
H72 号住居跡



溝 1



遺構外



トレンチ

- I. 黒色土 締り弱、粘性有、黒褐色灰色土で5mm以下ローム粒少し含む
 II. 黒色土 締り弱、粘性有、I層黒褐色灰色土をシミ状に(斑)少し、2mm以下ローム粒少し含む
 III. 暗褐色土 締りやや強、粘性有、IVとの漸移層

H74 号住居跡

0. 攪乱

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒・焼土少し含む

H75 号住居跡

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土少し含む

2. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少し含む

3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒やや多く、5mm以下焼土少し、シミ状に赤褐色土を少し含む

4. 黒褐色土 締り強、粘性有、周溝の覆土、5mm以下シミ状のローム粒多く、最大6cm大ロームブロック少し含む

5. 黄褐色土 締り強、粘性有、貼床構築土、黄褐色灰色土を主体に2cm以下ロームブロック多く含む

H76 号住居跡

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒・焼土少し含む

2. 黒褐色土 締り強、粘性有、黄灰色味がある、5mm以下ローム粒・焼土・炭化物少し含む

3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2層より黒色味強い、2mm以下ローム粒・焼土、5～10mm炭化物少し含む

4. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒・1～2cm炭化物やや多く、5mm以下焼土少し含む

H77 号住居跡

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒・3mm以下焼土少し含む

- ①. 黒褐色土 締り有、粘性有、1.5cm以下ロームブロック・粒やや多く含む、プラン上は、北部分に焼土面が認められる

H78 号住居跡

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1～5cmハードロームブロック、5mm以下ローム粒少し、5mm以下焼土僅かに含む

第13図 川崎遺跡第35地点出土遺物(1/4)、第36地点遺構配置図(1/300)、H73～78号住居跡土層(1/150)



川崎遺跡第 35 地点調査風景



川崎遺跡第 35 地点土坑 1



川崎遺跡第 35 地点土坑 2



川崎遺跡第 35 地点溝 1



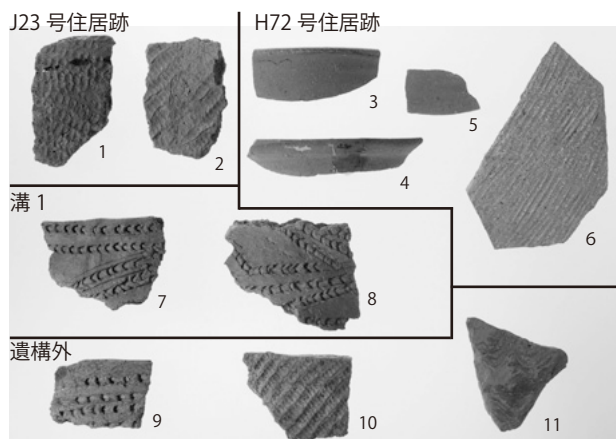
川崎遺跡第 35 地点 J23 号住居跡



川崎遺跡第 35 地点 H72 号住居跡



川崎遺跡第 35 地点調査風景



川崎遺跡第 35 地点 J23・H72 号住居跡、溝 1、遺構外出土遺物